

オーストラリア 生食用ブドウは甘いライセンス品種が伝統品種を追い越す

[FreshPlaza 2025年6月10日](#)

オーストラリアでは、甘みのより強い生食用ブドウ品種が登場し、トンプソンシードレス等の伝統的な品種が脇に追いやられ、スーパーマーケットの風景が一変している。コットンキャンディ、ファイアクラッシュ、ミッドナイトビューティ等の新しい競争相手が、長年の定番品種と並んで注目を集めている。

ビクトリア州北西部ミルデューラ市近郊のメルベイン地区にブドウ園を持つエンリケ・ロッシ氏は、クリムゾンシードレスからアリソン、アイボリー等のライセンス品種に移行している。これらのライセンス制のブドウは、個々の品種名ではなく、特定のブランドや名称によって定義されており、市場で広まりつつある。

ロッシ氏は、「この変化は、この数年間に兆候が見られていたものであり、今年は一気に本格化した」と述べ、現在栽培中のブドウの約70%が新しいライセンス品種に属していると指摘した。

同氏は、ライセンス制の生食用ブドウに移行することのハイリスク・ハイリターン¹の性質を強調しており、この動きが小規模な家族経営の農場に不釣り合いな影響を与えるのではないかと懸念し、「家族経営の生産者は減少し、中小規模の生産者は消滅または合併するだろう」と述べた。

オーストラリアは生食用ブドウの純輸出国の立場を維持しており、オーストラリア生食用ブドウ協会によると、13万2千トン以上が海外に出荷されている。ニューサウスウェールズ州ユーストン町のジョー・ガレファ氏のような生産者は、伝統的なトンプソン品種から離れることで消費者の要求に対応している。ガレファ氏はロビンベール及び周辺地区の生食用ブドウ生産者協会の会長として、「これらのライセンス品種に対する需要が高まっている。味が良く、それこそが今の消費者が追い求めているものだ」と説明した。

オーストラリア生食用ブドウ協会のジェフ・スコット会長は、伝統品種からのパラダイムシフトを認めている。同氏は、収量の高さ²と堅牢な輸送適性により、スーパーマーケットが新しい品種に軸足を移していることを観察しており、「スーパーマーケットは、トンプソンやメニンディーのような伝統的な品種よりも新しい品種を求める方向に進んでいる」と説明した。

出典: [ABC News](#)

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)

中国 雲南省に南部最大の高品質リンゴ産地が誕生

[FreshPlaza 2025年6月11日](#)

雲南省昭通市^{チョウトウ}は、伝統的な農業地域から中国南部最大の高品質リンゴの生産基地へと変貌を遂げ、50万人以上の住民を貧困から救い出した。

標高が高く、日射量が豊富で、気温の較差が大きいという理想的な気候を持つ昭通市は現在、6万6,700ヘクタールでリンゴを栽培し、昨年は130万トン³を収穫して、150億元(20億7千万ドル)の価値を生み出した。この業界は13万8千世帯に利益をもたらしており、昨年4月には宇宙船神舟18号に搭載する食料として、昭通市産のリンゴが採用された。

同市の昭陽区^{チョウヤウ}では、6,670ヘクタールの果樹園(中国最大の密植栽培リンゴ基地)が、世界最先端の技術を駆使して118品種のリンゴを栽培している。元タバコ農家のディン・カイウェン氏は現在、土地のリースと果樹園の仕事で年間最大8万元を稼いでいる。(1元=約20円)

「昭陽レッド」等の地元ブランドは、93の環境・有機認証を取得している。8~14元/kgで販売されるリンゴは、サムズクラブ(米国のスーパー)やヘマフレッシュ(中国のスーパー)等のプレミアム市場に届き、また東南アジアに輸出されている。果樹業界は、果樹園ツアーや果実狩りイベント等の観光も後押ししており、地域経済の多様化と生計の向上に貢献している。

出典: [Chinadaily](#)